

三ヶ山メガソーラー発電事業

三ヶ山メガソーラー発電施設（エネワンソーラーパーク寄居）は、総出力数約2.6MWを誇る県内最大級の太陽光発電施設です。7月1日から一般見学が可能となりました。パネル枚数は16,384枚で、年間約770世帯分の使用電気量に相当します。発電された電力はすべて電気事業者へ売電されます。



○経緯

埼玉県では地元の意見を踏まえ、廃棄物埋立跡地の有効活用策として太陽光発電施設の誘致を決定しました。発電事業者の選定に当たっては、地元への貢献策を求め、企画提案のあった8事業者の中から株式会社サイサンが選ばれました。昨年9月に基本協定が締結され、今年1月には事業契約を締結。土地の貸付期間は20年間となっています。

○地元への貢献

- ・発電量に応じた額を町、または町が指定する団体に寄附
(算出方法：年間発電量の3.5%に1kW当たり40円を乗じた額)
- ・高度災害対応型エネルギー供給システム機器を町に10基寄附
(1基目は総合体育館・アタゴ記念館の北側に設置)

○環境学習への取り組み

- ・メガソーラー設置場所に見学台を設置し、屋外表示パネルで発電量を表示
 - ・発電状況を閲覧できるホームページの作成
 - ・町からの要請に基づき、見学会の開催や小・中学校へ環境学習の講師を派遣
- ※「エネワンソーラーパーク寄居」とは、発電施設の設置者 株式会社サイサンの呼び名です。

問い合わせ／県環境部資源循環推進課（☎048・830・3104）へ。



特集

「より・Eエコタウン推進のまち」を宣言しました!



～宣言全文～

町では、「自然と産業が調和する創造のまち」を合言葉に先進的な環境調和型のまちづくりを目指してきました。

そして、今日、日本のみならず地球社会は、人と地球環境にやさしい持続可能なエネルギーを強く求めるに至りました。

よってここに、寄居の特性を活かし、自然と産業が調和した、自然エネルギーにあふれるまちづくりを推進するために、「より・Eエコタウン推進のまち」を宣言します。

この推進にあたり、町の特徴を活かすべく、次の事を中心に取り組んでいきます。

1. エネルギーの地産地消を目指します (Energy)
2. 環境との調和を目指します (Environment)
3. 町の経済成長を目指します (Economy)
4. より良いライフへの移行を目指します (Ecology)

町では6月11日に、鉢形小学校4年生の皆さんの協力のもと「より・Eエコタウン推進のまち」を宣言しました。今後は、この宣言に基づき「より・Eエコタウン」の実現に向けて取り組んでいきます。

問い合わせ／企業誘致エコタウン課（☎581・2121内線210）へ。



竣工式が盛大に 執り行われました!

県が推進するエコタウンプロジェクトの一環として、また、三ヶ山地区にある埼玉県環境整備センターの廃棄物埋立跡地の有効活用策として、メガソーラー発電施設が竣工しました。これに伴い、県と発電施設の設置者である株式会社サイサン（川本代表取締役）との共催により竣工式が開催され、上田県知事をはじめ、国会・県議会・町議会議員、地区代表者、地元小・中・高校生など、関係各所から約250人が出席しました。

寄居城北高校の生徒が司会・進行を務め、寄居中学校吹奏楽部による記念演奏や鉢形小学校代表者（4年生）による作文朗読も行われ、式典に花を添えました。

また、点灯式、やくす玉開披、「1年中校に出会える町よりの実行委員会」の協力による校の植樹が行われました。


